

古河歴史見聞録

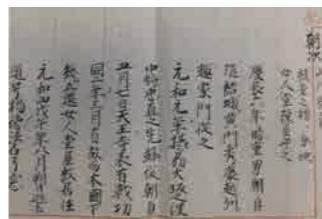
先祖の旧地・由緒の人々をたずねて 山川朝顕・朝周の帰参運動

本家と分家の再会は突然に

「お久しぶりでござる！」
「えッ？…ご浪人様、お会いしたことがありませんか？」「あなたの本家でござるよ！いやはやア、180年ぶりござるなあ！」

「それはア…あまりにも…久しぶりすぎる！」

寛政4(1792)年、本家の末裔を名乗る浪人山川小四郎朝顕が子ども2人を連れ、恩名村(現・恩名)名主山川又兵衛延晴を突然訪れます。「本家は確か越前福井藩重臣のはずだが？ いつ浪人に??」と又兵衛は驚くばかり。朝顕の話によると「祖父内膳朝音



▲山川氏系譜の鞆負朝次部分(恩名山川家文書)

が病氣療養の休役中、体力回復のため鳥狩に同行したことで謹慎となり『高禄重役の身でありながら…』とおのれの行動を恥じ、藩を退散、浪人。朝音・朝暁・自分の三代、江戸に住み武芸指南をしていたが、今回大火に遭い、家財を失ったため、先祖の旧地山川を訪れ、遠祖の菩提寺長徳院で恩名村に同族がいることを聞き訪ねた。」とのこと。

ところで山川氏は、鎌倉時代、源頼朝に仕えた結城朝光の子重光を初代とし、以来400年、幾多の動乱を乗り越り、山川綾戸城を居城に、山川庄(現・結城市南部、古河市尾崎・恩名など)を堅守。慶長6(1601)年、前年の関ヶ原の戦いの論功行賞による結城秀康(徳川家康次男。結城晴朝養子)の越前北庄(現・福井市)転封に、山川菊松丸(11歳)が重臣筆頭として従い、山川の地を去りました。又兵衛の恩名山川家の祖は恩名女人堂砦を守った鞆負朝次で、朝顕の祖菊松丸の叔父に当たり、その後見役として一緒に越前へ移り

ましたが、元和2(1616)年、恩名村に残した妻子を迎えに来て、越前には戻らず帰農、代々名主役を務めました。

結果がでません。気が付けば17年の歳月が過ぎ、ようやく文化11(1814)年、朝顕の子朝周が朝音退散の罪を赦免され、年頭・暑中・寒中御機嫌伺いなどの御出入りを許されます。朝周は藩主松平治好に拝謁しますが、完全な帰参は「追々沙汰する」となり、江戸や越前へは移らず、恩名村に住み続けました。

又兵衛は小四郎一家を自宅に引き取り、朝顕の念願である越前福井藩帰参のため尽力します。結城秀康ゆかりの結城町孝顕寺に助力を願い、1年後、朝顕はタイミングよく孝顕寺に立ち寄った福井藩用人大道寺孫九郎と対面、「帰参願」と「田緒の証書書類写し」を渡すことに成功。これはすぐに帰参できる！と思いきや、その後進展なく、又兵衛の人脈で信州善光寺・上野護国院・江戸山王別当観理院へ助力を願いますが

藩への御出入りが許されたことで、朝音の弟朝高の子孫である藩士山川登弥太と朝周との交流が始まり、登弥太は書状の中で「お互い遠く離れており、あなたに直接お会いできていないのがとても残念です。先祖の物語を語り合いたいので、ぜひ福井へお越しください。」と依頼。「あなたとは親族なので、とても懐かしく感じられます。」と心境を述べています。



▲山川小四郎帰参願(恩名山川家文書)

山川朝顕・朝周の事例は、大火で家財を失い「先祖の旧地」を訪ねることにより、大昔に別れた分家と再会し、力を合わせて旧藩復帰に成功した好例です。

三和資料館学芸員 白石謙次

【児童/読み物】

夕風修理館と秘密に満ちた客人たち

ココロ直 著

依頼人たちは、なぜ「嘘」をつくのか？「物の声」が聞こえる小学生・美結は、骨董品の修理館の店主と共に、依頼人たちの嘘を暴き、謎を解き明かしていき…。1話5分で読める、ショートミステリー6話を収録。

出版社…PHP研究所

【絵本】

うろおぼえ一家のきゆうじつ 出口かずみ 作

あひるの一家は、そろいもそろって、うろおぼえ。お父さんがはまっている「メモ刑事」に影響されて、休日にその日の計画をメモに書いて出かけることに。そのメモは、本来の使い方とは違う形で活躍して…。

出版社…理論社

図書館の本棚から

【一般/動物学】

飼育員が教えるどうぶつのディープな話

大淵希郷 編著

オオアリクイ、トナカイ、ニシゴリラ、アジアゾウ、ウォンバット…。動物園で人気がある51種の動物を写真と共に紹介。動物園の飼育員たちが教えるマニアックなお話、動物たちのディープな話題なども掲載する。

出版社…緑書房



三和図書館

【一般/小説】

はーばーらいと

吉本ばなな 著

彼女を好きだったのかもしれない、と本気で思った。でも、彼女はもうこの町にいない。信仰と自由、初恋と友情、決別と回復。淡々と歌うように生きるさまが誰かを救う、書き下ろし小説。

出版社…晶文社

地球の神秘に迫る鉱物研究者

島本奏汰さん 古河中等教育学校3年生

「水の惑星」地球は「石の惑星」とも言われていて、地球が作り出す鉱物は現時点で5,700種以上見つかっています。その鉱物には美しいものから生活に役に立つものまでさまざまな特徴があり、僕は小学1年生の頃からこれらの鉱物がどうやって作られるのかにとっても興味を持っています。

だから、将来は鉱物の研究者になって、さまざまな鉱物を作り出すこの地球の神秘に迫りたいです。そして、いつか誰も見たことのない新しい鉱物を発見したいです。



わたしの夢